

4 相模線を中心とした交通改善方策と整備構想、利用促進方策

4.1 複線化等(輸送サービス向上)の意義・必要性

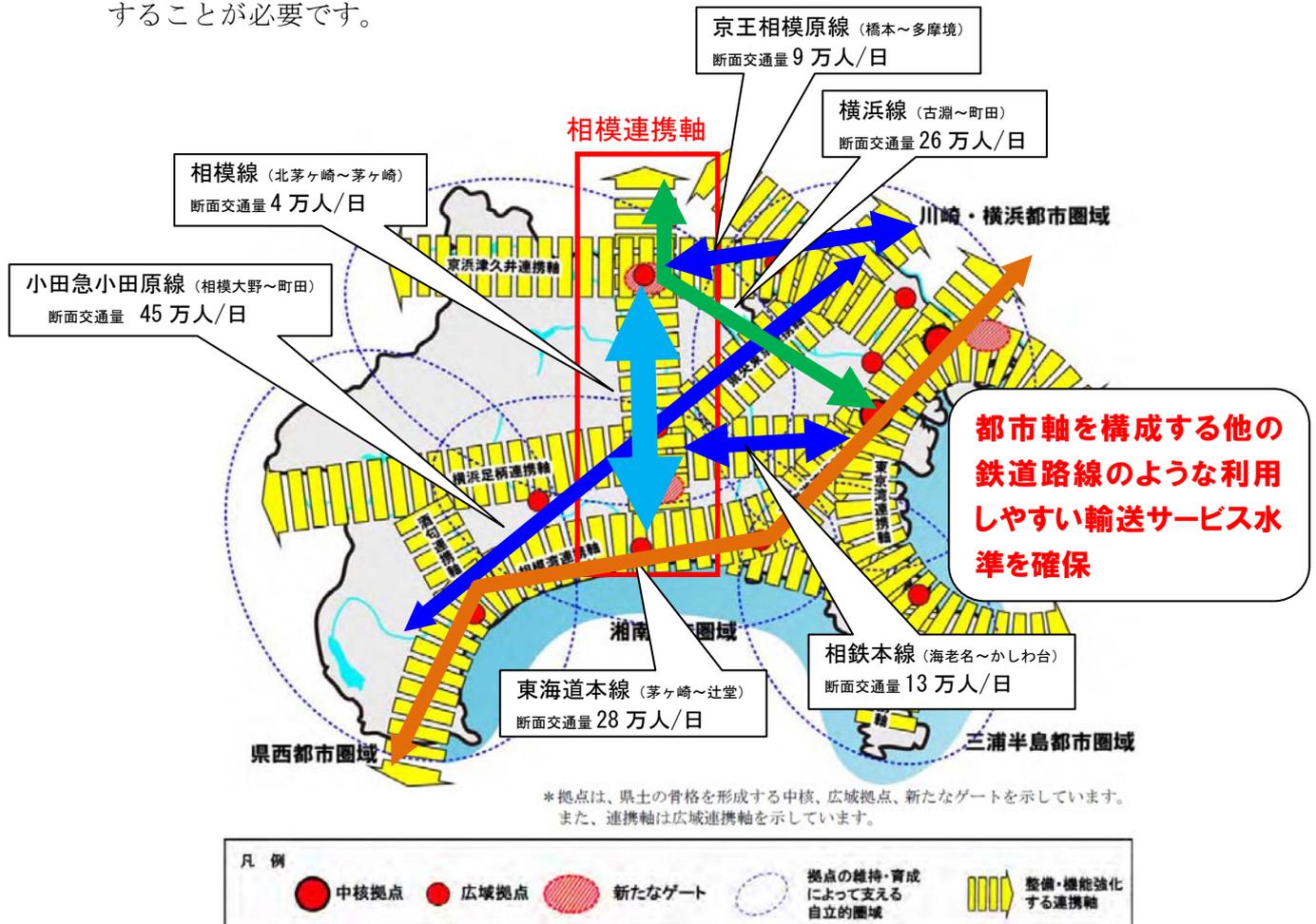
相模線の現況及び課題を踏まえ、県央・湘南都市圏域においては、次の観点から相模線の複線化等(輸送サービス向上)が必要と考えられます。

(1) 地域の活動を支える主要交通軸の形成

相模線沿線市町は、神奈川県内の人口の14%にあたる約126万人が暮らし、約45万人が働く一大都市圏を築いていますが、地域の移動手段である相模線については、単線であるため運行本数が少なく、駅行違いによる所要時間の増加などが課題となっており、沿線の都市活動のツールとして十分に活用されていない状況にあります。

また、駅前広場が整備されていない駅が11駅あり、路線バスをはじめとした駅へのアクセス交通に関しても十分とは言えない状況です。

今後、地域住民の日常生活や沿線企業の産業活動を支えていくためには、相模線の輸送サービスレベルを向上し、バス交通などと連携を図りながら県央・湘南都市圏の主要交通軸を形成することが必要です。



出典：かながわ都市マスタープランを基に作成

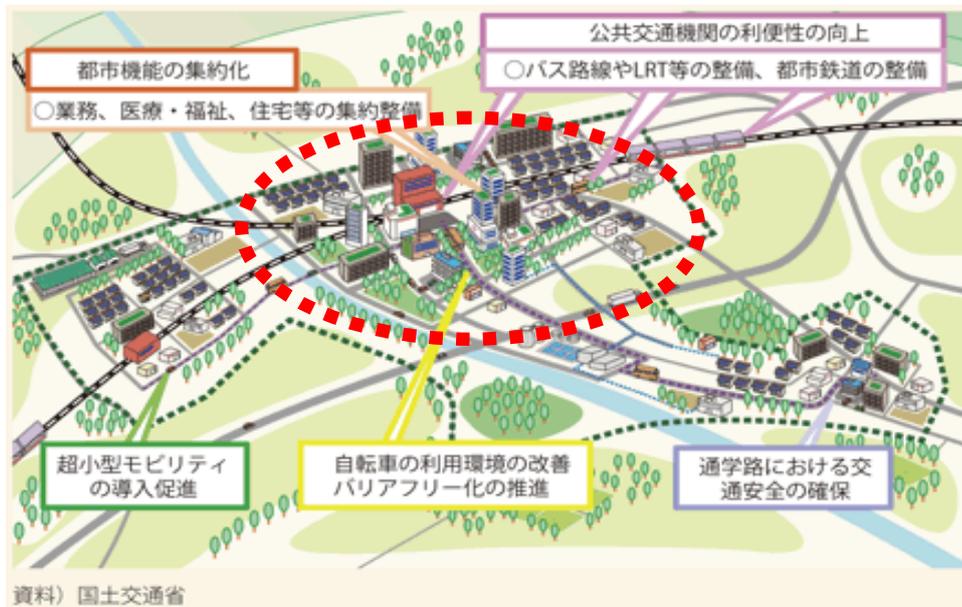
図 都市軸に対応する鉄道網

(2) 人と環境にやさしい持続可能なまちづくりの実現

今後、確実かつ急速に高齢者が増加することが見込まれる中では、自動車を運転できない交通弱者でも気軽に活動できるまちづくりや交通環境の実現が求められます。また、人口減少が進む中においても将来の世代に良好な環境を引き継ぐためには、効率的な都市構造の形成や交通分野におけるCO₂排出削減やエネルギー効率の向上などの環境負荷軽減の取組みが求められます。

このため、駅を中心とした集約型のまちづくりを進めるとともに、公共交通への利用転換を図り、過度に自動車に依存しない持続可能なまちづくりを実現することが重要であり、そのためにも、相模線の輸送サービス改善による鉄道の利便性向上や駅機能の向上が必要です。

さらに、将来想定される震災等の大規模災害時における代替機能としての観点からも、首都圏を放射状に結ぶ鉄道と環状的に結節する相模線の輸送機能の向上が望まれます。



駅を中心とした集約型のまちづくりにより、過度に自動車に依存せずに活動できるようにすることで環境負荷を軽減

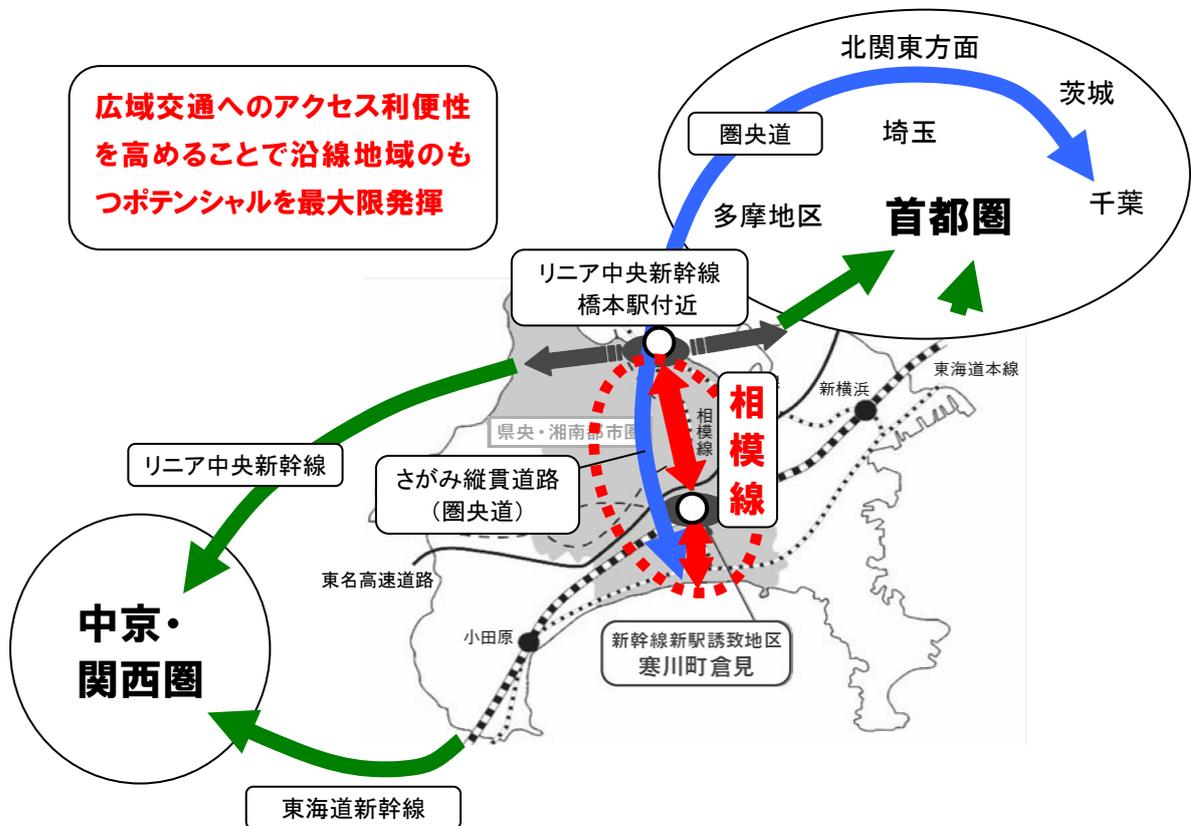
出典：国土交通省資料を基に作成

図 駅を中心とした集約型まちづくりのイメージ

(3) 広域交通ネットワークを生かした人やもの、情報が行き交う、活力あるまちづくりの実現

相模線沿線では、橋本駅付近へのリニア中央新幹線駅や倉見駅への東海道新幹線新駅の整備が計画されるとともに、さがみ縦貫道路の全線開通が間近に迫るなど、広域交通ネットワークの充実が見込まれます。また、小田急多摩線や相鉄いずみ野線の延伸等の交通ネットワーク拡充による東京都心や横浜・川崎などの拠点との連携強化も期待されています。

今後、県央・湘南都市圏が、こうした広域交通ネットワークの利便性を生かし、居住促進、産業集積、観光振興等による人やもの、情報が行き交う活力あるまちづくりを進めていくためには、相模線が都市圏を結ぶ南北軸としてだけでなく、広域交通へのアクセス路線として効果を波及させ、沿線地域のもつポテンシャルを最大限発揮させていくことが重要であり、相模線の抜本的な輸送サービス改善が必要です。



出典: 神奈川県ホームページを基に作成

図 広域交通ネットワークの効果波及イメージ

4.2 相模線及び相模線沿線まちづくりの将来像と施策の基本的方向

4.2.1 相模線及び相模線沿線まちづくりの将来像

沿線地域ならびに神奈川県での将来動向や、相模線複線化等（輸送サービス向上）の意義・必要性を踏まえ、相模線及び相模線沿線まちづくりの将来像として次のとおり定めます。

- ①沿線で生活・活動するすべての人が利用しやすい鉄道
- ②相模線を中心とした持続可能なまちづくり
- ③広域的に人・もの・情報が行き交う活力あるまちづくり

4.2.2 将来像の実現に向けた5つの方向性と6つの施策

(1) 5つの取組みの方向性

将来像実現に向けた5つの取組みの方向性を次のとおり定めます。

1) 利便性の高い輸送サービスの確保

沿線住民の日常生活や沿線企業の活動を支える地域の主要な交通軸として、運転本数や速達性、他路線との接続を考慮した始発終電の時刻等、他手段と比べても遜色のない、利便性の高い輸送サービスを確保していきます。

2) 高齢者・子どもにやさしい駅及び周辺環境の整備

今後、少子高齢化が進展していく中で、活力ある地域社会を実現するためには、お年寄りや子ども・学生等、車を自由に使えない人の移動を支援することが重要なことから、誰もが使いやすい駅及び周辺環境を整備していきます。

3) にぎわい創出のための拠点性の向上

駅周辺は、企業や商業施設、公共施設が集積する地域の活動拠点としての機能や、来訪者における地域の玄関口としての機能が求められています。また、鉄道そのものが地域におけるシンボリックな存在となります。

今後、沿線地域においてにぎわいを創出していくためには、駅を中心とした沿線地域における交流人口を増やしていくことが重要なことから、鉄道も含めた地域資源との連携を図るとともに、相模線沿線の拠点性の向上を図っていきます。

4) 災害に強いまちづくりへの貢献

震災等の大規模災害発生時における沿線活動への影響を小さくするため、首都圏の放射状軸に対し、結節する環状軸の道路と鉄道が相互に補完する代替性（リダンダンシー）の高い強靱な交通ネットワークを構築するとともに、一時滞在場所としての駅構内への帰宅困難者の受け入れや適切な情報発信体制の構築等により、災害に強いまちづくりへの貢献を図っていきます。

5) 広域高速鉄道網へのアクセス性の強化

今後、沿線地域においてリニア中央新幹線駅、東海道新幹線新駅を核とした全国との交流連携の窓口となる神奈川県の南北ゲートの形成を促進していくため、広域高速鉄道網へのアクセス路線としての機能強化を図っていきます。

(2) 6つの施策

5つの取組みの方向性に対応する6つの施策を次のとおり定めます。

1) 鉄道の輸送サービス向上

既存施設の改良や行違い施設の新設等により所要時間の短縮、運行本数の増加を図るとともに、最終的に複線化を実現することにより、輸送サービスの向上を図ります。また、初終電車の繰り上げ・繰り下げ増便や他線との乗継ぎ改善等により、利便性の向上を図ります。

2) 駅アクセスの改善

駅の特性を踏まえながら、路線バスの充実、路線バス等の接続、コミュニティバスの運行、駅前広場の整備等による改善を図ります。

3) 駅施設のバリアフリー化

誰もが利用しやすい駅となるよう、駅の乗降者数によらず、エレベータやスロープ等の設置による段差解消等を図ります。

4) 駅施設の利便性・安全性向上

誰もが便利で安全に駅を利用できるよう、多機能トイレの整備、運行案内情報の充実、防犯セキュリティの向上等の改善を図ります。

5) 駅の拠点性向上

駅周辺に多様な機能を集積させることにより駅の利便性を向上させ、駅を中心とした賑わいあるまちづくりを目指します。

6) 地域との連携

相模線沿線の豊かな自然や文化・伝統等の地域資源を活用し、相模線と連携した魅力あるイベントを企画し、相模線の利用促進、地域の活性化を目指します。

表 5つの取組みの方向性と6つの施策の関係性

5つの取組みの方向性	6つの施策					
	① 鉄道の輸送サービス向上	② 駅アクセスの改善	③ 駅施設のバリアフリー化	④ 駅施設の利便性・安全性向上	⑤ 駅の拠点性向上	⑥ 地域との連携
1. 利便性の高い輸送サービスの確保	○	○				
2. 高齢者・子どもにやさしい駅及び周辺環境の整備		○	○	○	○	
3. にぎわい創出のための拠点性の向上					○	○
4. 災害に強いまちづくりへの貢献	○			○	○	
5. 広域高速鉄道網へのアクセス性の強化	○	○				

4.2.3 施策の基本方針

6つの施策を「相模線本体の輸送サービス改善方策」、「駅及び周辺交通改善方策」、「地域と連携しながら取り組む利用促進方策」の3つの視点で分類し、交通改善プログラムとして整理します。

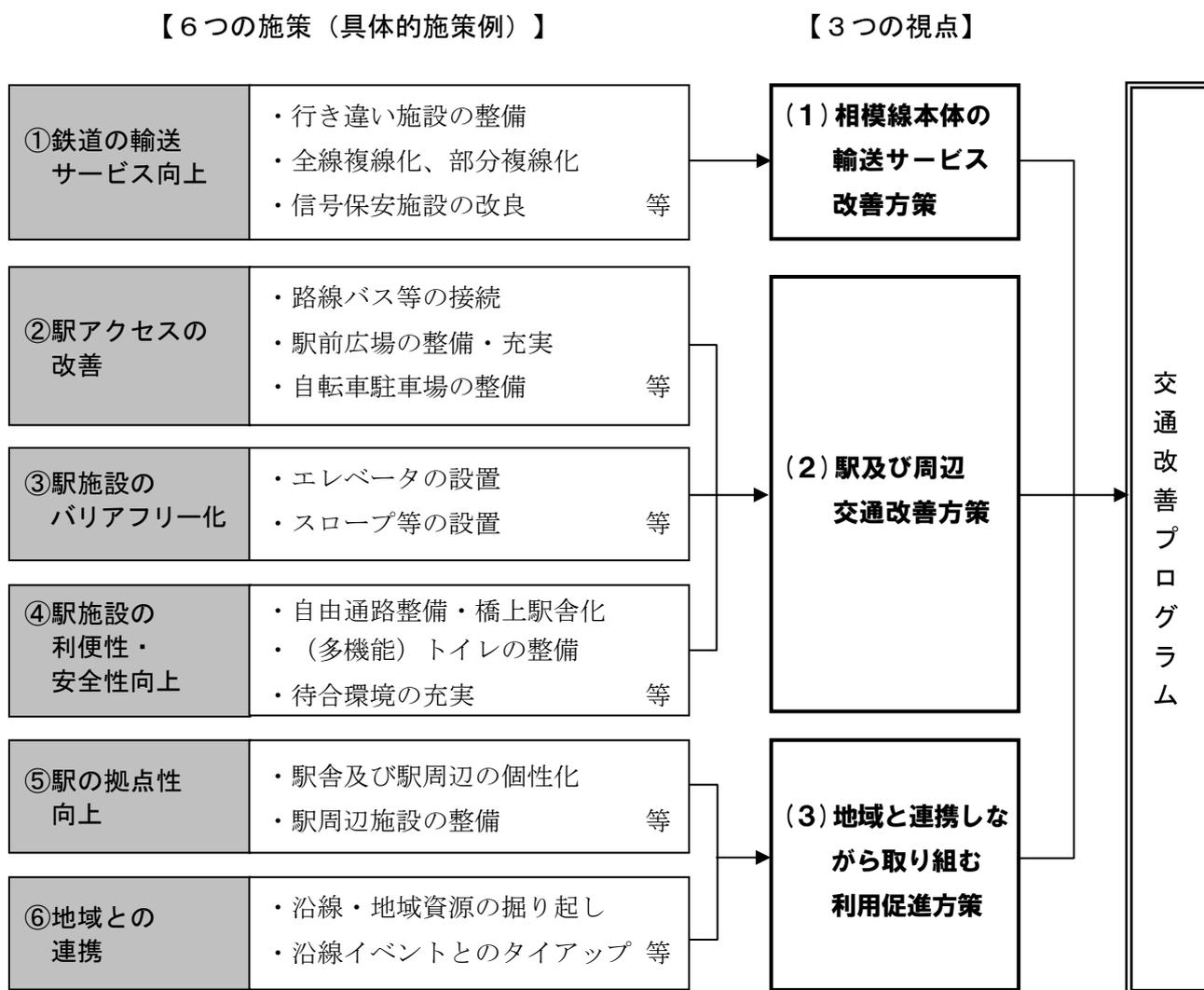
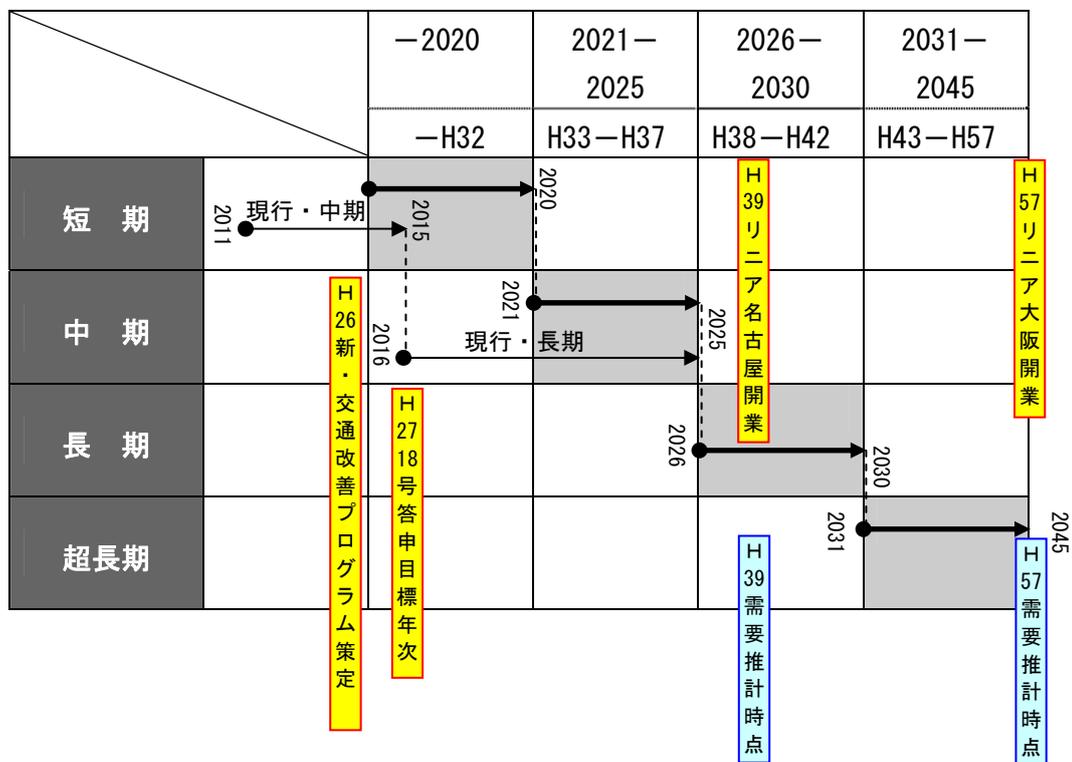


図 6つの施策と3つの視点の関係性

4.2.4 施策実施上の時間軸

交通改善プログラムの実施時期を明確にするための時間軸として、リニア開業等の外的環境の変化を踏まえ、2045年までの約30年間に短期・中期・長期・超長期の4区分に設定します。

表 交通改善プログラムの時間軸設定



4.3 相模線本体の輸送サービス改善方策

4.3.1 基本的な考え方

相模線全線を同時に複線化するには、多額の投資が必要であり採算が確保できない恐れがあることから、信号保安施設の改良、行違い施設新設や部分的な複線化など既存施設の有効活用により、所要時間の短縮や運行本数など輸送サービスの向上を段階的に進めていくことが適当です。

4.3.2 「柱となる主要施策」の整備構想

相模線本体の輸送サービス改善方策として、全線複線化に向けた段階的整備スケジュールを以下の通り設定します。

第1ステップ（ケースA）・信号保安設備の改修、分岐器の改良、PRC改修等による輸送改善

【整備内容】信号保安設備の改修、分岐器の改良、PRC改修等を行います。

【概算整備費】60～90億円が見込まれます。

【整備効果】第1ステップ（ケースA）の実現により、現行のピーク時運行所要時間（上り63分、下り67分）が、それぞれ3～6分程度短縮することが見込まれます。また、データタイム運行所要時間が約50分になるとともに、パターンダイヤ化が可能になると見込まれます。これは、行違い施設を3駅（香川・厚木・上溝）に整備した場合と同等の効果になります。

第1ステップ（ケースB）・行違い施設の整備（7駅）

【整備内容】現在列車の行違いができない7駅（香川・宮山・門沢橋・入谷・下溝・上溝）に行違い施設を新設します。なお、7駅のうち、4駅（香川・宮山・厚木・入谷）を先行整備し、その後残りの3駅（門沢橋・下溝・上溝）の整備を行います。

【概算整備費】4駅整備で84億円、3駅整備で88億円の合計172億円が見込まれます。

【整備効果】4駅行違い施設の整備が実現することにより、現行の運行所要時間（上り63分、下り67分）が、それぞれ10～15*分程度短縮され、パターンダイヤ化が可能となります。残りの3駅行違い施設の整備が実現することにより、運行本数も5本/時が可能になると見込まれます。

第2ステップ・・・部分複線化

【整備内容】8区間（香川～寒川、宮山～倉見、門沢橋～社家、社家～厚木、海老名～入谷、相武台下～下溝、下溝～原当麻、番田～上溝）を部分的に複線化します。

【概算整備費】330億円が見込まれます。

【整備効果】運行所要時間は一定の短縮が図られ、運行本数も6本/時が可能になると見込まれます。

第3ステップ・・・全線複線化（残り区間の複線化）

【整備内容】残りの単線区間を複線化し全線複線化します。

【概算整備費】430億円が見込まれます。

【整備効果】運行所要時間は一定の短縮が図られ、運行本数も8本/時以上が可能になると見込まれます。

*データタイムパターンの最大想定

段階的整備内容	輸送サービス水準等 (整備費用は概算額)	整備構想スケジュール			
		短期	中期	長期	超長期
		~2020	2021~ 2025	2026~ 2030	2031~ 2045
		-H32	H33-37	H38-42	H43-57
① 柱となる主要施策					
現状	所要時間：63~67分 ピーク時運行本数：4本/時				
第1ステップ（ケースA） 信号保安設備の改修、分岐器の改良、 PRC改修等による輸送改善※1	所要時間：50~60分程度 ピーク時運行本数：4本/時 整備費用：60~90億円				
第1ステップ （ケースB） 行違い施設	4 駅行違い施設新設 （香川駅・宮山駅 ・厚木駅・入谷駅）	所要時間：50~60分程度 ピーク時運行本数：4本/時 整備費用：84億円			
	3 駅行違い施設新設 （門沢橋駅・下溝駅 ・上溝駅）	所要時間：50~60分程度 ピーク時運行本数：5本/時 整備費用：88億円			
第2ステップ 部分複線化 （香川~寒川、宮山~倉見、 門沢橋~社家、社家~厚木、 海老名~入谷、相武台下~下溝、 下溝~原当麻、番田~上溝）	所要時間：50~55分程度 ピーク時運行本数：6本/時 整備費用：330億円				
第3ステップ 全線複線化	所要時間：50分程度 ピーク時運行本数：8本/時 整備費用：430億円				

※1 第1ステップ（ケースA）の「段階的整備内容」は、平成22年7月22日付 JR東日本資料による

※2 第1ステップ（ケースB）、第2ステップ、第3ステップの「段階的整備内容」は、平成16年度「相模線を中心とした交通改善方策と整備構想 改訂版」による

※3 以上より全線複線化に掛かる費用の合計は992~1,022億円となる

4.3.3 「①柱となる主要施策」と合わせて相乗効果を狙って取り組む施策

“ホーム延伸（6両化）”、“新駅の設置”については、「①柱となる主要施策」と合わせて相乗効果を狙って取り組むこととします。

4.3.4 「その他の施策」

「①柱となる主要施策」、「②柱となる主要施策と合わせて相乗効果を狙って取り組む施策」の他、直通運転本数の増加など、相模線の利便性向上に寄与する施設の実現に向けて取り組みます。

段階的整備内容	輸送サービス水準等 (整備費用は概算額)	整備構想スケジュール			
		短期	中期	長期	超長期
		～2020	2021～ 2025	2026～ 2030	2031～ 2045
		-H32	H33-37	H38-42	H43-57
② 柱となる主要施策と合わせて相乗効果を狙って取り組む施策					
ホーム延伸（6両化）	整備費用：175億円	□ □	→		
新駅の設置	(仮)西久保駅	整備費用：80億円	□ □	→	
	(仮)海老名運動公園前駅		□ □	→	
	(仮)作の口駅		□ □	→	
	(仮)上今泉駅	整備費用：70億円	□ □	→	
	(仮)磯部駅		□ □	→	
③：その他の施策					
八王子駅直通の運転本数の増加	—	□ □	→		(H39まで)
始発電車の繰り上げ増便、最終電車の繰り下げ増便等による他線との乗継ぎ改善	—	□ □	→		(H39まで)
新型車両の導入	—	□ □	→		(H39まで)

4.4 駅及び周辺交通改善方策

(1) 駅アクセスに関する改善策

1) バス・鉄軌道関連

① 路線バスの充実(運行本数増等)

駅への広域的なアクセスを実現するため、運行本数の増発など路線バスの充実に取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町、バス事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、海老名駅、相武台下駅、原当麻駅、上溝駅、南橋本駅、橋本駅
	中期	下溝駅

② 路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)

路線バスと鉄道との乗換えを改善するため、駅前広場の整備と合わせ、路線バスの駅前への乗入れについて取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町、バス事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、海老名駅、原当麻駅、上溝駅、橋本駅
	短期	寒川駅
	長期	倉見駅

③ コミュニティバスの運行

自治体等が計画しているコミュニティバスの運行について利用者の利便性を確保するため、駅前への乗入れについて取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町、バス事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、香川駅、寒川駅、宮山駅、倉見駅、海老名駅、入谷駅、橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅

④ 企業送迎バスの運行

工業団地等の最寄駅で、通勤者の端末交通を確保するため、企業送迎用のバスの運行について取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町、民間事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、海老名駅、上溝駅、橋本駅
	短期	香川駅

⑤ 空港リムジンバスの運行

広域高速交通網への接続性を向上するために、駅と空港を結ぶ空港リムジンバスの運行について取り組めます。

取組みの主体		県、沿線市町、バス事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、海老名駅
	長期	橋本駅（拡充）

⑥ 新しい交通システムの検討

沿線地域における公共交通ネットワークの強化を図るため、相模線と接続する新しい交通システムの検討について取り組めます。

取組みの主体		県、沿線市町
時期	整備済	—
	短期	原当麻駅

⑦ 鉄軌道の整備・延伸

広域的な交流を支える鉄道ネットワークを構築するため、相模線と接続する小田急多摩線及び相鉄いずみ野線の延伸について取り組めます。

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者
時期	整備済	—
	長期	上溝駅
	超長期	倉見駅

2) 自転車・自動車関連

① 自転車駐車場の整備・充実

自転車駐車場が不足又は設備が不十分な駅において、自転車利用者の利便性の向上を図るため、駅前広場の整備等と併せて整備に取り組めます。

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者、民間
時期	整備済	茅ヶ崎駅、香川駅、厚木駅、海老名駅、相武台下駅、下溝駅、上溝駅、南橋本駅、橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅、門沢橋駅、社家駅
	中期	寒川駅、入谷駅、原当麻駅、番田駅
	長期	宮山駅、倉見駅

② パークアンドライド用駐車場の整備

自動車通勤から公共交通を利用した通勤方法への転換やターミナル駅への自動車交通の集中を緩和するため、パークアンドライド用の駐車場を整備に取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町、民間
時期	整備済	—
	長期	橋本駅

3) 駅周辺環境

① 駅前広場の整備・充実

沿線市町の計画に沿って駅前広場の整備を推進するほか、相模線の輸送サービス向上のため鉄道施設の改良（行違い施設の新設等）が必要な駅についてはこれと併せた整備に取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、原当麻駅、上溝駅、南橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅、香川駅、社家駅、海老名駅
	中期	宮山駅、入谷駅
	長期	倉見駅、下溝駅、番田駅、橋本駅
	超長期	門沢橋駅

② アクセス道路の整備・充実

県及び沿線市町の計画に沿って道路整備を推進するとともに、局所的な道路改良により駅へのアクセス道路の整備に取り組みます。

取組みの主体		県、沿線市町
時期	整備済	茅ヶ崎駅、北茅ヶ崎駅、寒川駅、社家駅、厚木駅、海老名駅、原当麻駅、上溝駅、南橋本駅
	中期	香川駅、入谷駅
	長期	倉見駅、下溝駅、橋本駅
	超長期	門沢橋駅

(2) 駅舎に関する改善策

1) 駅舎改良

① 自由通路整備及び橋上駅化

駅改札口への両方向からのアクセスを確保するため、駅舎の橋上化を図り、自由通路を整備するとともに、相模線の輸送サービス向上のため鉄道施設の改良（行違い施設の新設等）が必要な駅についてはこれと併せた整備に取り組みます。

取組みの主体	県、沿線市町、鉄道事業者	
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、原当麻駅、上溝駅、南橋本駅、橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅、香川駅、海老名駅
	長期	下溝駅、番田駅
	超長期	門沢橋駅、厚木駅

2) バリアフリー化等

エレベータ、スロープ等の整備により駅のバリアフリー化を進めるとともに、乗換駅については、鉄道相互間の乗継ぎの円滑化(シームレス化)による利用者の利便性向上を図ります。

また、相模線の輸送サービス向上のため鉄道施設の改良（行違い施設の新設等）が必要な駅についてはこれと併せた整備に取り組みます。

① エレベータの設置

取組みの主体	県、沿線市町、鉄道事業者	
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、海老名駅、原当麻駅、番田駅、上溝駅、南橋本駅、橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅、香川駅
	中期	倉見駅、社家駅、相武台下駅

② スロープ等の設置

取組みの主体	県、沿線市町、鉄道事業者	
時期	整備済	香川駅、宮山駅、門沢橋駅、厚木駅、入谷駅、番田駅
	中期	下溝駅

③ ホームの拡幅

取組みの主体	県、沿線市町、鉄道事業者	
時期	整備済	—
	超長期	海老名駅

3) 利便性・安全性等

多機能トイレの整備や、列車運行案内及び待合環境の充実により、駅の利便性を向上させるとともに、無人駅の有人化や駅無人時間帯の有人化により、安全性の向上を図ります。

また、相模線の輸送サービス向上のため鉄道施設の改良（行違い施設の新設等）が必要な駅についてはこれと併せた整備に取り組みます。

なお、駅の有人化については、鉄道事業者のみならず、ボランティア等による地域の協力も含めた検討を行っていく必要があります。

① 多機能トイレの整備

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、寒川駅、厚木駅、海老名駅、原当麻駅、番田駅、上溝駅、南橋本駅、橋本駅
	短期	北茅ヶ崎駅、香川駅
	中期	宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、入谷駅、相武台下駅、下溝駅

② 列車運行案内の情報の充実

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、海老名駅、南橋本駅、橋本駅
	中期	北茅ヶ崎駅、香川駅、寒川駅、宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、厚木駅、入谷駅、相武台下駅、下溝駅、原当麻駅、番田駅、上溝駅

③ 待合い環境の充実

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者
時期	整備済	橋本駅
	中期	茅ヶ崎駅、北茅ヶ崎駅、香川駅、寒川駅、宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、厚木駅、海老名駅、入谷駅、相武台下駅、下溝駅、原当麻駅、番田駅、上溝駅、南橋本駅

④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化

取組みの主体		県、沿線市町、鉄道事業者
時期	整備済	茅ヶ崎駅、香川駅、寒川駅、厚木駅、海老名駅、南橋本駅、橋本駅
	中期	北茅ヶ崎駅、宮山駅、倉見駅、門沢橋駅、社家駅、入谷駅、相武台下駅、下溝駅、原当麻駅、番田駅、上溝駅

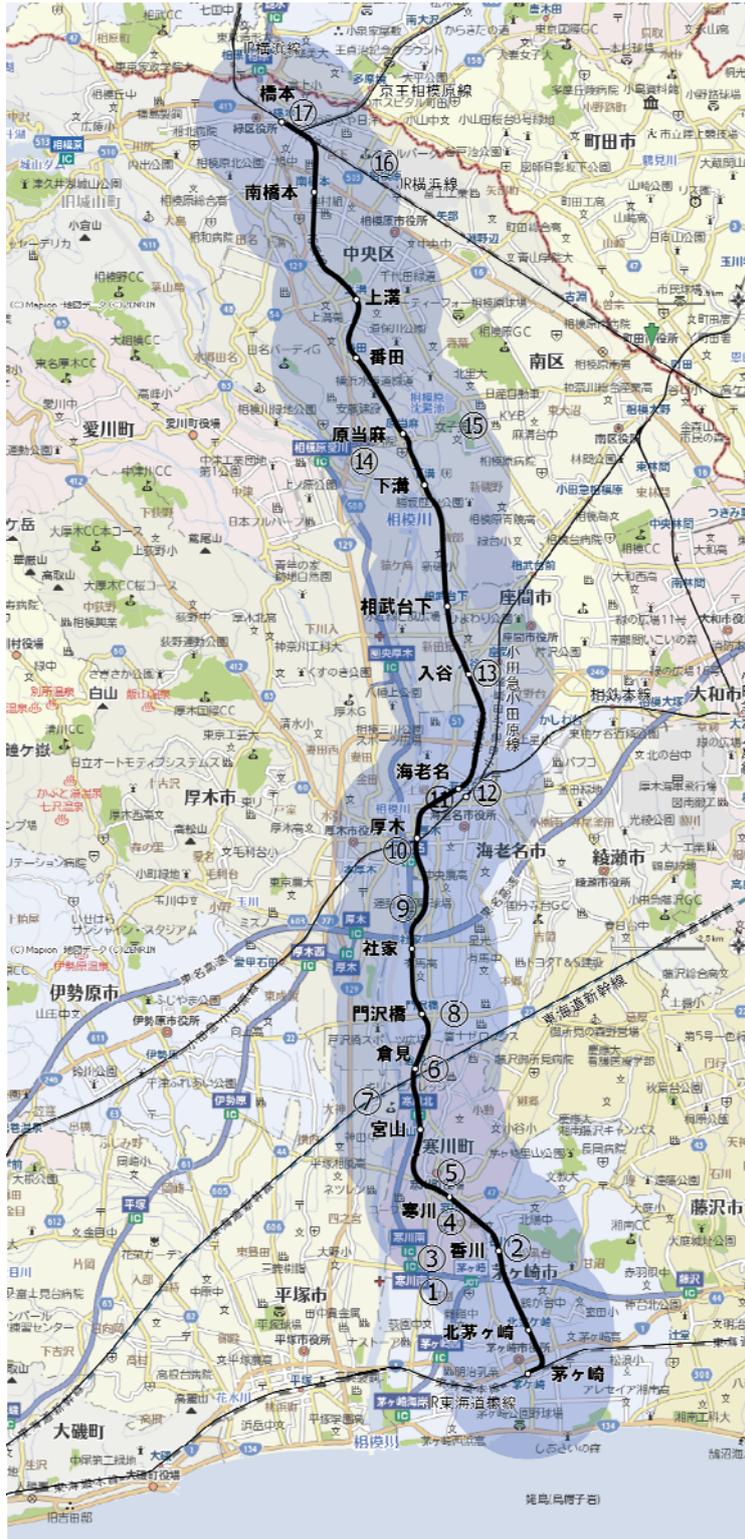
(3) 駅周辺に関する改善策

各自治体において計画している駅周辺のまちづくり計画を推進していくことにより、相模線沿線に人口を集積させていきます。

表 駅周辺のまちづくり計画

NO	市町名	町丁目名	駅勢圏	事業名	目標
1	茅ヶ崎市	萩園	香川駅	萩園字上ノ前地区まちづくり整備	長期
2	茅ヶ崎市	香川	香川駅	香川駅周辺まちづくり整備計画	中期
3	寒川町	田端	寒川駅	田端西地区まちづくり事業	中期
4	寒川町	一之宮	寒川駅	寒川駅南口整備事業	長期
5	寒川町	岡田	寒川駅	寒川駅北口地区土地区画整理事業	短期
6	寒川町	倉見	倉見駅	ツインシティ倉見地区整備事業	長期
7	平塚市	大神	倉見駅	ツインシティ大神地区整備事業	長期
8	海老名市	本郷・門沢橋地区	門沢橋駅	本郷・門沢橋地区整備事業	不明
9	海老名市	運動公園周辺地区	社家駅	運動公園周辺整備事業	不明
10	海老名市	厚木駅周辺	厚木駅	厚木駅周辺市街地再開発事業	長期
11	海老名市	上郷 (海老名駅西口地区)	海老名駅	海老名駅西口土地区画整理事業	短期
12	海老名市	上郷 (海老名駅駅間地区)	海老名駅	(民間による開発行為)	不明
13	座間市	入谷2丁目	入谷駅	入谷駅東口地区土地区画整理事業	超長期
14	相模原市	南区当麻地区	原当麻駅	当麻地区土地区画整理事業	中期
15	相模原市	南区麻溝台・新磯野ほか	原当麻駅	麻溝台・新磯野土地区画整理事業	長期
16	相模原市	中央区小山地区	南橋本駅	広域交流拠点基本計画(相模原駅周辺)	長期
17	相模原市	緑区橋本2丁目	橋本駅	広域交流拠点基本計画(橋本駅周辺)	長期

出典：神奈川県、沿線各市町資料



NO	事業名	NO	事業名	NO	事業名
①	萩園字上ノ前地区まちづくり整備	⑦	ツインシティ大神地区整備事業	⑬	入谷駅東口地区土地区画整理事業
②	香川駅周辺まちづくり整備計画	⑧	本郷・門沢橋地区整備事業	⑭	当麻地区土地区画整理事業
③	田端西地区まちづくり事業	⑨	運動公園周辺整備事業	⑮	麻溝台・新磯野土地区画整理事業
④	寒川駅南口整備事業	⑩	厚木駅周辺市街地再開発事業	⑯	広域交流拠点基本計画(相模原駅周辺)
⑤	寒川駅北口土地区画整理事業	⑪	海老名駅西口土地区画整理事業	⑰	広域交流拠点基本計画(橋本駅周辺)
⑥	ツインシティ倉見地区整備事業	⑫	海老名駅駅間地区(民間開発)		

図 相模線関連プロジェクト(区画整理関係)

【駅別 駅及び駅周辺交通改善方策】

(1) 茅ヶ崎市

1) 茅ヶ崎駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 東海道本線と接続したターミナル駅（H24 年度乗車人員 54,984 人/日） ・ 茅ヶ崎市中心部に位置し、周辺人口が多い。（居住人口 72,631 人、従業人口 17,747 人）
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通拠点の駅として、駅待合い環境の充実による利便性等の向上を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～ 2025	2026～ 2030	2031～ 2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄道関連	①路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)
		②路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)					(整備済)
		③コミュニティバスの運行					(整備済)
		④企業送迎バスの運行					(整備済)
		⑤空港リムジンバスの運行					(整備済)
2) 自転車・自動車関連	3) 駅周辺環境	①自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
		①駅前広場の整備・充実					(整備済)
		②アクセス道路の整備・充実					(整備済)
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					(整備済)
		①エレベータの設置					(整備済)
	2) バリアフリー化等	①(多機能)トイレの整備					(整備済)
		②列車運行案内情報の充実					(整備済)
		③待合い環境の充実					(整備済)
3) 利便性・安全性等	③待合い環境の充実					(整備済)	
	④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					(整備済)	

2) 北茅ヶ崎駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 茅ヶ崎市中心部から近く、周辺人口が多い。（居住人口 55,129 人、従業人口 15,764 人） ・ 駅前広場が未整備 ・ バリアフリー化未整備駅 ・ 自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 生活拠点駅として、駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 ・ 高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上についてのニーズ等への対応のため、バリアフリー化や駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～ 2025	2026～ 2030	2031～ 2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄道関連	③コミュニティバスの運行					
	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	②アクセス道路の整備・充実					(整備済)
		自由通路整備及び橋上駅化					
	2) バリアフリー化等	①エレベータの設置					
		①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
3) 利便性・安全性等	③待合い環境の充実						
	④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化						

3) 香川駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・茅ヶ崎市と寒川町の間に位置し、駅利用者が比較的多い。(H24年度乗車人員 4,937人/日) ・駅前広場が未整備 ・バリアフリー化未整備駅 ・自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・比較的用户の多い駅として、駅前広場整備やアクセス道路の整備による利便性等の向上を図ります。 ・駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上に対するニーズ等への対応のため、バリアフリー化や駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～	2026～	2031～	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	③コミュニティバスの運行 ④企業送迎バスの運行					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実 ②アクセス道路の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					
	2) バリアフリー化等	①エレベータの設置 ②スロープ等の設置					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実 ③待合環境の充実 ④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					香川駅周辺まちづくり整備計画 萩園字上ノ前地区まちづくり整備

(2) 寒川町

4) 寒川駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 寒川町中心部に位置し、駅利用者が比較的多い。(H24年度乗車人員 6,700人/日) 周辺に事業所が多い。(大規模事業所 4箇所、従業員 11,727人/日)
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 生活拠点駅として、駅アクセスの改善による利便性等の向上を図ります。 駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。

具体的な施策		～2020	2021～	2026～	2031～	備考
		短期	2025	2030	2045	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	① 路線バスの充実(運行本数増等)				(整備済)
		② 路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)				
	2) 自転車・自動車関連	③ コミュニティバスの運行				(整備済)
		④ 企業送迎バスの運行				(整備済)
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	① 駅前広場の整備・充実				(整備済)
		② アクセス道路の整備・充実				(整備済)
	2) バリアフリー化等	自由通路整備及び橋上駅化				(整備済)
		① エレベータの設置				(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	① (多機能)トイレの整備				(整備済)
		② 列車運行案内情報の充実				(整備済)
		③ 待合い環境の充実				(整備済)
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化				(整備済)
		駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等				寒川駅北口土地区画整理事業 田端西地区まちづくり事業 寒川駅南口整備事業

5) 宮山駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 観光名所である寒川神社の最寄り駅 駅前広場が未整備
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 観光拠点駅として、自転車駐車場整備や駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。

具体的な施策		～2020	2021～	2026～	2031～	備考	
		短期	2025	2030	2045		
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連					(整備済)	
	2) 自転車・自動車関連						
	3) 駅周辺環境						
(2) 駅舎に関する改善策	2) バリアフリー化等	① 駅前広場の整備・充実				(整備済)	
		② スロープ等の設置				(整備済)	
	3) 利便性・安全性等	① (多機能)トイレの整備					
		② 列車運行案内情報の充実					
		③ 待合い環境の充実					
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					

6) 倉見駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線新駅誘致や相鉄いずみ野線の延伸構想があり、南のゲートとして期待 駅前広場が未整備 バリアフリー化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> 将来の広域交通拠点となる駅として、路線バス等への接続や駅アクセスの改善や駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 駅周辺のまちづくりにより、定住・交流人口増加による利用促進を図ります。 高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上についてのニーズ等への対応のため、バリアフリー化等の整備を行います。

具体的な施策		～2020	2021～	2026～	2031～	備考
		短期	2025	2030	2045	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	② 路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)				(整備済)
		③ コミュニティバスの運行				
	2) 自転車・自動車関連	⑦ 鉄軌道の整備・延伸				相鉄いずみ野線の延伸
		① 自転車駐車場の整備・充実				
(2) 駅舎に関する改善策	3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実				
		② アクセス道路の整備・充実				
	2) バリアフリー化等	① エレベータの設置				
		① (多機能)トイレの整備				
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	② 列車運行案内情報の充実				
		③ 待合い環境の充実				
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化				
		駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等				ツインシティ倉見地区整備事業 ツインシティ大神地区整備事業

(3) 海老名市

7) 門沢橋駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺人口は比較的少ないが、大規模事業所が周辺に存在（大規模事業所3箇所） ・駅前広場が未整備 ・自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業所に近い駅として、自転車駐車場の充実、駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上に対するニーズ等への対応のため、駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実					
		②アクセス道路の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					
	2) バリアフリー化等	②スロープ等の設置					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合環境の充実					
④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化							
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					本郷・門沢橋地区整備事業

8) 社家駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に事業所が多い。（大規模事業所3箇所、従業員18,206人） ・駅前広場が未整備 ・バリアフリー化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業所に近い駅として、自転車駐車場整備、駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上についてのニーズ等への対応のため、バリアフリー化等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実					
		②アクセス道路の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	2) バリアフリー化等	①エレベータの設置					
	3) 利便性・安全性等	①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合環境の充実					
		④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					運動公園周辺整備事業

9) 厚木駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急小田原線との接続駅（H24年度乗車人員 6,525人/日） ・周辺人口が多い。（居住人口 52,679人、従業員人口 55,127人） ・自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点駅として、駅待合環境の充実による利便性等の向上を図ります。 ・駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上に対するニーズ等への対応のため、駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	2) 自転車・自動車関連	① 自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
	3) 駅周辺環境	② アクセス道路の整備・充実					(整備済)
	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					
(2) 駅舎に関する改善策	2) バリアフリー化等	② スロープ等の設置					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	① (多機能)トイレの整備					(整備済)
		② 列車運行案内情報の充実					
		③ 待合環境の充実					
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					厚木駅周辺市街地再開発事業

10) 海老名駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・小田急小田原線・相鉄本線との接続駅（H24年度乗車人員 10,008人/日） ・海老名市中心部に近く、周辺人口が多い。（居住人口 42,668人、従業員人口 20,367人）
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点駅として、駅前広場整備による利便性・安全性等の向上を図ります。 ・駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上に対するニーズ等への対応のため、バリアフリー化等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考	
			短期	中期	長期	超長期		
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	① 路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)	
		② 路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)					(整備済)	
		③ コミュニティバスの運行					(整備済)	
		④ 企業送迎バスの運行					(整備済)	
		⑤ 空港リムジンバスの運行					(整備済)	
	2) 自転車・自動車関連	① 自転車駐車場の整備・充実					(整備済)	
(2) 駅舎に関する改善策	3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実						
	1) 駅舎改良	② アクセス道路の整備・充実					(整備済)	
		自由通路整備及び橋上駅化					JR～小田急・相鉄間自由通路	
		① エレベータの設置					(整備済)	
		③ ホームの拡幅						
		2) バリアフリー化等	① (多機能)トイレの整備					(整備済)
			② 列車運行案内情報の充実					(整備済)
			③ 待合環境の充実					
			④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					海老名駅西口地区土地区画整理事業	
							海老名駅自由通路整備事業	
						海老名駅駅間地区(民間による開発行為)		

(4) 座間市

11) 入谷駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・座間市中心部から近く、周辺人口が多い。（居住人口 43,745 人） ・幹線から入った田園地帯内に位置した無人駅であり、アクセス道路は非常に狭い。 ・駅前広場が未整備
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点駅として、自転車駐車整備や駅前広場整備、アクセス道路の整備による利便性等の向上を図ります。 ・駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～	2026～	2031～	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	③コミュニティバスの運行					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実 ②アクセス道路の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	2) バリアフリー化等	②スロープ等の設置					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合い環境の充実					
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					入谷駅東口地区土地区画整理事業

(5) 相模原市

12) 相武台下駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・座間市の市街地が近く、キャンプ座間の最寄り駅 ・バリアフリー化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地から近い駅として、駅無人時間帯の有人化や駅待合い環境の充実による利便性等の向上を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上についてのニーズ等への対応のため、バリアフリー化等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	①路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
	2) バリアフリー化等	①エレベータの設置					
(2) 駅舎に関する改善策	3) 利便性・安全性等	①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合い環境の充実					
		④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					

13) 下溝駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・相模川と支流に挟まれた場所にあり、アクセス道路は並行する県道のみ ・駅前広場が未整備 ・バリアフリー化未整備駅 ・自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・生活拠点駅として、路線バスの充実や駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性向上についてのニーズ等への対応のため、バリアフリー化や駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	①路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	①自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	①駅前広場の整備・充実 ②アクセス道路の整備・充実					
(2) 駅舎に関する改善策	3) 利便性・安全性等	1) 駅舎改良					
		2) バリアフリー化等	②スロープ等の設置				
		①(多機能)トイレの整備					
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合い環境の充実					
		④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					

14) 原当麻駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺人口は少ないが、周辺に大規模事業所が存在し、駅利用者が比較的多い。(H24年度乗車人員 4,417人/日、大規模事業所3箇所)
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が比較的多い駅として、新しい交通システムの整備による利便性等の向上を図ります。 ・駅周辺のまちづくりにより、周辺人口増加による利用促進を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	①路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)
		②路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)					(整備済)
		⑥新しい交通システムの検討					
(2) 駅舎に関する改善策	3) 利便性・安全性等	①自転車駐車場の整備・充実					
		①駅前広場の整備・充実					(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	②アクセス道路の整備・充実					(整備済)
		自由通路整備及び橋上駅化					(整備済)
		①エレベータの設置					(整備済)
		①(多機能)トイレの整備					(整備済)
		②列車運行案内情報の充実					
		③待合い環境の充実					
		④無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					

15) 番田駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺人口は比較的少ないが、周辺に大規模事業所が存在 ・駅前広場が未整備 ・自由通路及び橋上化未整備駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模事業所に近い駅として、駐車場の充実や駅前広場整備による利便性等の向上を図ります。 ・高齢者、身体障害者等の移動の円滑化や駅機能の利便性に対するニーズ等への対応のため、駅舎改良等の整備を行います。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	2) 自転車・自動車関連	① 自転車駐車場の整備・充実					
	3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実					
	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					
(2) 駅舎に関する改善策	2) バリアフリー化等	① エレベータの設置					(整備済)
		② スロープ等の設置					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	① (多機能)トイレの整備					(整備済)
		② 列車運行案内情報の充実					
		③ 待合い環境の充実					
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					

16) 上溝駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・相模原市役所から近く、周辺人口が多い（居住人口 77,279 人、従業人口 27,263 人） ・市街地や相模川沿いに観光スポットが点在（公園、博物館等） ・小田急多摩線の延伸構想があり、実現すれば都心方面をつなぐターミナル駅となる
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・市街地に近く、将来の広域交通拠点となる駅として、駅無人時間帯の有人化や駅待合い環境の充実による利便性等の向上を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考	
			短期	中期	長期	超長期		
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	① 路線バスの充実（運行本数増等）					(整備済)	
		② 路線バス等の接続（駅前広場への乗入れ）					(整備済)	
		④ 企業送迎バスの運行					(整備済)	
		⑦ 鉄軌道の整備・延伸					小田急多摩線延伸	
		2) 自転車・自動車関連	① 自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
(2) 駅舎に関する改善策	3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実					(整備済)	
		② アクセス道路の整備・充実					(整備済)	
	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					(整備済)	
		2) バリアフリー化等	① エレベータの設置					(整備済)
			① (多機能)トイレの整備					(整備済)
3) 利便性・安全性等	② 列車運行案内情報の充実							
	③ 待合い環境の充実							
	④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化							

17) 南橋本駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺に大規模事業所が存在し、また市街地に近く、周辺人口が多い。（居住人口 58,830 人、従業人口 35,135 人、大規模事業所 5 箇所）
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺のまちづくりにより、定住・交流人口増加による利用促進を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～2025	2026～2030	2031～2045	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	① 路線バスの充実（運行本数増等）					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	① 自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
	3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実					(整備済)
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	② アクセス道路の整備・充実					(整備済)
		自由通路整備及び橋上駅化					(整備済)
	2) バリアフリー化等	① エレベータの設置					(整備済)
		① (多機能)トイレの整備					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	② 列車運行案内情報の充実					(整備済)
③ 待合い環境の充実							
④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化						(整備済)	
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					駅周辺公共施設整備事業(整備済) 広域交流拠点基本計画(相模原駅周辺)

18) 橋本駅

駅の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ J R 横浜線、京王相模原線と接続したターミナル駅であり、リニア中央新幹線駅が設置予定（J R 横浜線 H24 年度乗車人員 61,127 人/日，京王相模原線 H24 年度乗車人員 44,186 人/日） ・ 橋本地区の中心部に位置し、周辺人口が多い（居住人口 72,287 人、従業員人口 31,319 人、大規模事業所 6 箇所） ・ 津久井湖などの観光スポットの最寄り駅
施策の必要性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広域交通拠点駅として、駅アクセスの改善（空港リムジンバス運行、駅前広場の整備等）を図ります。 ・ 駅周辺のまちづくりにより、定住・交流人口増加による利用促進を図ります。

具体的な施策			～2020	2021～	2026～	2031～	備考
			短期	中期	長期	超長期	
(1) 駅アクセスに関する改善策	1) バス・鉄軌道関連	① 路線バスの充実(運行本数増等)					(整備済)
		② 路線バス等の接続(駅前広場への乗入れ)					(整備済)
		③ コミュニティバスの運行					(整備済)
		④ 企業送迎バスの運行					(整備済)
	2) 自転車・自動車関連	⑤ 空港リムジンバスの運行					
		① 自転車駐車場の整備・充実					(整備済)
		② P&R 用駐車場の整備					
3) 駅周辺環境	① 駅前広場の整備・充実						
	② アクセス道路の整備・充実						
(2) 駅舎に関する改善策	1) 駅舎改良	自由通路整備及び橋上駅化					(整備済)
	2) バリアフリー化等	① エレベータの設置					(整備済)
		① (多機能)トイレの整備					(整備済)
	3) 利便性・安全性等	② 列車運行案内情報の充実					(整備済)
		③ 待合い環境の充実					(整備済)
		④ 無人駅の有人化、駅無人時間帯の有人化					(整備済)
(3) 駅周辺に関する改善策	1) まちづくり・周辺施設等	駅周辺への施設誘致・駅周辺まちづくり計画等					広域交流拠点基本計画(橋本駅周辺)

4.5 地域と連携しながら取り組む利用促進方策

地域と連携しながら取り組む利用促進方策を以下に整理します。

(1) 定期外利用層を対象とした利用促進

定期外利用の促進のためには、相模線や相模線沿線の魅力を創出するとともに、その魅力を伝えることにより、相模線を使って相模線沿線に來たいと思えるような取組みを実施する必要があります。

1) 鉄道事業者・地域との連携による魅力創出

○沿線地域の地域資源（観光面・経済面等幅広く検討）の掘り起こし＜新規＞（短期～超長期）

沿線市町の祭りや史跡、特産品等、相模線を利用した誘客を見込める地域の観光資源について掘り起こしを行います。

○駅舎及び駅周辺の個性化＜新規＞（長期～超長期）

相模線独自の賑わいや楽しさを演出するため、地域資源との関連を踏まえて、駅舎や駅周辺の街並みについて個性化を図ります。



参考：マスコットキャラクターの猫に外観を模した駅舎
（和歌山電鉄貴志川線貴志駅）



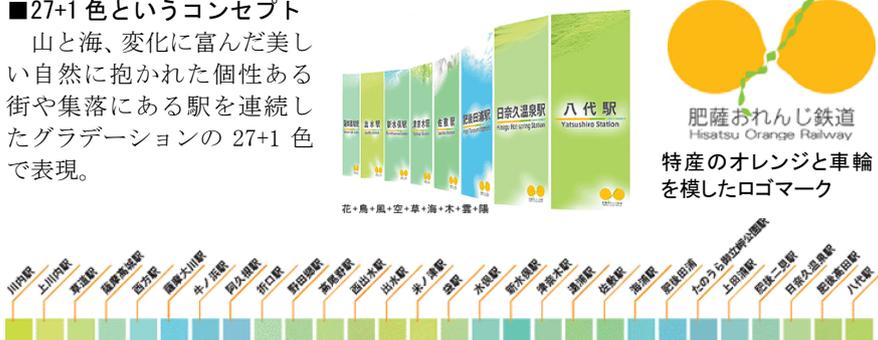
参考：「坊ちゃん」のイメージにつながるレトロな外装による駅舎
（伊予鉄道道後温泉駅）

○相模線の統一コンセプト、イメージ戦略の実施＜新規＞（短期～超長期）

相模線の魅力をより効果的に伝えていくため、PR活動の基本方針として相模線の統一コンセプトを決定し、戦略的に各種施策を実施します。なお、実施にあたっては、さがみロボット産業特区のイメージなど、地域資源の魅力の連携を図ることが重要です。

■27+1色というコンセプト

山と海、変化に富んだ美しい自然に抱かれた個性ある街や集落にある駅を連続したグラデーションの27+1色で表現。



参考：統一コンセプトにより各駅のイメージカラーを設定した例
（肥薩おれんじ鉄道）



©TEZUKA PRODUCTIONS
ロボット産業地区の
ロゴマーク

2) 鉄道事業者・地域との連携による利用促進イベントの企画

○イベント列車の運行<継続> (短期～超長期)

S Lやお座敷列車など、相模線に乗車すること自体を目的とするイベント列車を運行し、増客を図ります。

○相模線利用促進イベントの実施 (沿線ハイキング等) <継続> (短期～超長期)

沿線地域の観光資源 (祭り・史跡・特産品等) と連動した、来訪者の相模線利用を見込めるイベントを実施します。

○沿線イベントとのタイアップ<継続> (短期～超長期)

沿線地域で実施されるイベントとのタイアップを行い、イベント来訪時の交通手段をマイカー利用から相模線利用に変更してもらう様に呼びかけを行います。



参考:100万人以上が集まる大阪天神祭で鉄道利用を呼び掛けるポスター (JR京橋駅)

3) 情報発信・意識啓発

○インターネットを活用した情報発信<継続> (短期～超長期)

相模線の魅力や沿線地域の観光情報、イベントの実施状況等について、インターネットを活用し幅広い層に対して情報発信を行います。



「Go! Go! 相模線」(同盟会ホームページ)

○相模線沿線の観光パンフレットの作成<継続> (短期～超長期)

相模線沿線地域の名所や史跡やイベント、店舗情報を紹介する観光パンフレットを作成し、広域からの相模線を利用した誘客を図ります。



相模線沿線ハイキングマップ

○情報発信スペースの設置 (テナント型、駅周辺公共施設の活用等) <新規> (短期～超長期)

商業施設のテナントや駅周辺公共交通施設の一部を活用して、相模線や沿線地域のPR情報を、常時、情報発信するためのスペースを設けます。



参考:駅コンコースに「港区観光インフォメーションセンター」を設置した事例(東京モノレール浜松町駅)

○マイレール意識の醸成（イベントへの参加、防犯活動等）＜新規＞（短期～超長期）

住民参加イベントを通じて相模線に対する親しみを感じてもらうことで、地域住民の間にマイレール意識を醸成し、相模線を持続的に利用してもらう意識を沿線地域に定着させます。



参考：区内 15 駅で自治会やボランティア団体等による駅前清掃事業を実施(東京都練馬区)



参考：駅の待合室の案内コーナーに観光案内ボランティアが常駐(群馬県中之条町)

○モビリティマネジメントによる公共交通利用促進＜新規＞（短期～超長期）

沿線の小・中学校や職場等を通じて、相模線の利用方法について説明を行うとともに、相模線を体験的に利用してもらうことで、相模線を含む公共交通の日常的な利用を促します。



参考：職場まで公共交通を利用した場合の道のりを説明するマップ(京都府宇治市)

(2) 定期利用層を対象とした利用促進

○沿線企業に対する公共交通利用促進の奨励等＜継続＞（短期～超長期）

従業員の相模線を含む公共交通利用を促すため、相模線駅勢圏(2km)内の企業を対象に、「エコ通勤キャンペーン」等を奨励します。

○モビリティマネジメントによる公共交通利用促進＜新規・再掲＞（短期～超長期）

沿線の小・中学校や職場等を通じて、相模線の利用方法について説明を行うとともに、相模線を体験的に利用してもらうことで、相模線を含む公共交通の日常的な利用を促します。

○コミュニティバスや共同通勤バスの検討＜継続＞（短期～超長期）

通勤・通学者の鉄道需要の掘り起こしのため、コミュニティバスや共同通勤バスの運行などの更なる拡充の検討を行います。

4.6 交通改善プログラムのまとめ

短期 ～2020年（～H32）

■相模線本体の輸送サービス改善方策(全線)

主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・信号保安設備の改修、分岐器の改良、PRC改修等による輸送改善 (H39まで) ・行違い施設新設: 4駅(香川駅・宮山駅・厚木駅・入谷駅) 3駅(門沢橋駅・下溝駅・上溝駅) (H39まで)
その他施策	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子駅の直通の運転本数の増加 (H39まで) ・始発電車の繰り上げ増便、最終電車の繰り下げ増便等による他線との乗継ぎ改善 (H39まで) ・新型車両の導入 (H39まで)



連携して施策を実施

■駅及び周辺交通改善方策等(各駅)

駅名	駅アクセスに関する改善策					駅舎に関する改善策			駅周辺に関する改善策
	バス・鉄軌道関連			自動車・自転車関連	駅周辺環境	駅舎改良	フリー化等	利便性・安全性等	まちづくり・周辺施設等
	路線バス等の接続 (駅前広場への乗り入れ)	コミュニティバスの運行	企業送迎バスの運行	新しい交通システムの検討	自転車駐車の整備・充実	駅前広場の整備・充実	自由通路整備及び橋上駅舎	エレベーターの設置	
茅ヶ崎									
北茅ヶ崎		●			●	●	●	●	
香川			●			●	●	●	香川駅周辺まちづくり整備計画 萩園字上ノ前地区まちづくり整備 寒川駅北口地区土地区画整理事業 田端西地区まちづくり事業 寒川駅南口整備事業
寒川	●								
宮山									
倉見									ツインシティ倉見地区整備事業 ツインシティ大神地区整備事業
門沢橋					●				
社家					●	●			
厚木									厚木駅周辺市街地再開発事業
海老名						●	●		海老名駅西口土地区画整理事業
入谷									入谷駅東口地区土地区画整理事業
相武台下									
下溝									
原当麻				●					当麻地区土地区画整理事業 麻溝台・新磯野土地区画整理事業
番田									
上溝									
南橋本									広域交流拠点基本計画(相模原駅周辺)
橋本									広域交流拠点基本計画(橋本駅周辺)

■地域と連携しながら取り組む利用促進施策(全線)

定期外利用層を対象とした利用促進施策	鉄道事業者・地域との連携による魅力創出	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の地域資源(観光面・経済面等幅広く検討)の掘り起こし ・相模線の統一コンセプト、イメージ戦略の実施
	鉄道事業者・地域との連携による利用促進イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・SLやお座敷列車などイベント列車の運行 ・相模線利用促進イベントの実施(沿線ハイキング等) ・沿線イベントとのタイアップ
定期利用層を対象とした利用促進施策	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報発信 ・相模線沿線の観光パンフレットの作成 ・情報発信スペースの設置(テナント型、駅周辺公共施設の活用等) ・マイレール意識の醸成(イベントへの参加、防犯活動等) ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線企業に対する公共交通利用促進の奨励等 ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	駅アクセス交通の充実に向けた検討	・コミュニティバスや共同通勤バスの検討

中期 2021～2025年 (H33～H37)

■相模線本体の輸送サービス改善方策(全線)

主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・信号保安設備の改修、分岐器の改良、PRC改修等による輸送改善 (H39まで) ・行違い施設新設: 4駅(香川駅・宮山駅・厚木駅・入谷駅) 3駅(門沢橋駅・下溝駅・上溝駅) (H39まで)
その他施策	<ul style="list-style-type: none"> ・八王子駅の直通の運転本数の増加 (H39まで) ・始発電車の繰り上げ増便、最終電車の繰り下げ増便等による他線との乗継ぎ改善 (H39まで) ・新型車両の導入 (H39まで)



連携して施策を実施

■駅及び周辺交通改善方策等(各駅)

駅名	駅アクセスに関する改善策			駅舎に関する改善策						駅周辺に関する改善策
	バス・鉄軌道 関連	自転車・ 自動車関連	駅周辺 環境	バリアフ リー化 等		利便性・安全性等				まちづくり・周辺施設等
	(運行本数増等) 路線バスの充実	自転車駐車場の 整備・充実	駅前広場の整備・充実	アクセス道路の整備 ・充実	エレベーターの設置	スロープ等の設置	(多機能) トイレの整備	列車運行案内情報の 充実	待合環境の充実	無人駅の有人化、駅無 人時間帯の有人化
茅ヶ崎								●		
北茅ヶ崎								●	●	
香川			●					●	●	香川駅周辺まちづくり整備計画 萩園字上ノ前地区まちづくり整備
寒川		●						●	●	田端西地区まちづくり事業 寒川駅南口整備事業
宮山			●				●	●	●	
倉見				●			●	●	●	ツインシティ倉見地区整備事業 ツインシティ大神地区整備事業
門沢橋							●	●	●	
社家					●		●	●	●	
厚木								●	●	厚木駅周辺市街地再開発事業
海老名									●	
入谷		●	●	●			●	●	●	入谷駅東口地区土地区画整理事業
相武台下					●		●	●	●	
下溝	●					●	●	●	●	
原当麻		●						●	●	当麻地区土地区画整理事業 麻溝台・新磯野土地区画整理事業
番田		●						●	●	
上溝								●	●	
南橋本									●	広域交流拠点基本計画(相模原駅周辺)
橋本										広域交流拠点基本計画(橋本駅周辺)

■地域と連携しながら取り組む利用促進施策(全線)

定期外利用層 を対象とした利用 促進施策	鉄道事業者・地域との連携による魅力 創出	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の地域資源(観光面・経済面等幅広く検討)の掘り起こし ・相模線の統一コンセプト、イメージ戦略の実施
	鉄道事業者・地域との連携による利用 促進イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・SLやお座敷列車などイベント列車の運行 ・相模線利用促進イベントの実施(沿線ハイキング等) ・沿線イベントとのタイアップ
定期利用層を 対象とした利用 促進施策	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報発信 ・相模線沿線の観光パンフレットの作成 ・情報発信スペースの設置(テナント型、駅周辺公共施設の活用等) ・マイルール意識の醸成(イベントへの参加、防犯活動等) ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線企業に対する公共交通利用促進の奨励等 ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	駅アクセス交通の充実に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスや共同通勤バスの検討

長期 2026～2030年 (H38～H42)

■相模線本体の輸送サービス改善方策(全線)

主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・信号保安設備の改修、分岐器の改良、PRC改修等による輸送改善(H39まで) ・行違い施設新設:3駅(門沢橋駅・下溝駅・上溝駅)(H39まで) ・部分複線化(8区間)
その他施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム延伸(6両化) ・新駅の設置:3駅((仮)西久保駅、(仮)海老名運動公園前駅、(仮)作の口駅)



連携して施策を実施

■駅及び周辺交通改善方策等(各駅)

駅名	駅アクセスに関する改善策						駅舎に関する改善策	駅周辺に関する改善策
	バス・鉄軌道関連		自転車・自動車関連		駅周辺環境		駅舎改良	まちづくり・周辺施設等
	(駅前広場への乗り入れ) 路線バス等の接続	空港リムジンバスの運行	鉄軌道の整備・延伸	自転車駐車場の整備・充実	P&R用駐車場の整備	駅前広場の整備・充実	アクセス道路の整備・充実	自由通路整備及び橋上駅
茅ヶ崎								
北茅ヶ崎								
香川								萩園字上ノ前地区まちづくり整備
寒川								寒川駅南口整備事業
宮山				●				
倉見	●			●		●		ツインシティ倉見地区整備事業 ツインシティ大神地区整備事業
門沢橋								
社家								
厚木								厚木駅周辺市街地再開発事業
海老名								
入谷								入谷駅東口地区土地区画整理事業
相武台下								
下溝						●	●	●
原当麻								●
麻溝台								●
番田								●
上溝			●					
南橋本								
橋本		●			●	●	●	
								●
								●

■地域と連携しながら取り組む利用促進施策(全線)

定期外利用層を対象とした利用促進施策	鉄道事業者・地域との連携による魅力創出	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の地域資源(観光面・経済面等幅広く検討)の掘り起こし ・駅舎及び駅周辺の個性化 ・相模線の統一コンセプト、イメージ戦略の実施
	鉄道事業者・地域との連携による利用促進イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・SLやお座敷列車などイベント列車の運行 ・相模線利用促進イベントの実施(沿線ハイキング等) ・沿線イベントとのタイアップ
	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報発信 ・相模線沿線の観光パンフレットの作成 ・情報発信スペースの設置(テナント型、駅周辺公共施設の活用等) ・マイルール意識の醸成(イベントへの参加、防犯活動等) ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
定期利用層を対象とした利用促進施策	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線企業に対する公共交通利用促進の奨励等 ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	駅アクセス交通の充実に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバスや共同通勤バスの検討

超長期 2031～2045年（H43～H57）

■相模線本体の輸送サービス改善方策(全線)

主要施策	<ul style="list-style-type: none"> ・部分複線化(8区間) ・全線複線化
その他施策	<ul style="list-style-type: none"> ・ホーム延伸(6両化) ・新駅の設置:5駅((仮)西久保駅、(仮)海老名運動公園前駅、(仮)作の口駅、(仮)上今泉駅、(仮)磯部駅)



連携して施策を実施

■駅及び周辺交通改善方策等(各駅)

駅名	駅アクセスに関する改善策		駅舎に関する改善策		駅周辺に関する改善策	
	バス・鉄軌道関連	駅周辺環境	駅舎改良	バリアフリー化等	まちづくり・周辺施設等	
	鉄軌道の整備・延伸	駅前広場の整備・充実	アクセス道路の整備・充実	自由通路整備及び橋上駅化工	ホームの拡幅	駅周辺への施設誘致 駅周辺まちづくり計画等
茅ヶ崎						
北茅ヶ崎						
香川						
寒川						
宮山						
倉見	●					
門沢橋		●	●	●		
社家				●		
厚木					●	
海老名						
入谷						入谷駅東口地区土地区画整理事業
相武台下						
下溝						
原当麻						
番田						
上溝						
南橋本						
橋本						

■地域と連携しながら取り組む利用促進施策(全線)

定期外利用層を対象とした利用促進施策	鉄道事業者・地域との連携による魅力創出	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線地域の地域資源(観光面・経済面等幅広く検討)の掘り起こし ・駅舎及び駅周辺の個性化 ・相模線の統一コンセプト、イメージ戦略の実施
	鉄道事業者・地域との連携による利用促進イベントの企画	<ul style="list-style-type: none"> ・SLやお座敷列車などイベント列車の運行 ・相模線利用促進イベントの実施(沿線ハイキング等) ・沿線イベントとのタイアップ
定期利用層を対象とした利用促進施策	情報発信・意識啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネットを活用した情報発信 ・相模線沿線の観光パンフレットの作成 ・情報発信スペースの設置(テナント型、駅周辺公共施設の活用等) ・マイルール意識の醸成(イベントへの参加、防犯活動等) ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進
	駅アクセス交通の充実に向けた検討	<ul style="list-style-type: none"> ・沿線企業に対する公共交通利用促進の奨励等 ・モビリティマネジメントによる公共交通利用促進 ・コミュニティバスや共同通勤バスの検討